

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成22年4月15日(2010.4.15)

【公開番号】特開2008-212551(P2008-212551A)
 【公開日】平成20年9月18日(2008.9.18)
 【年通号数】公開・登録公報2008-037
 【出願番号】特願2007-57462(P2007-57462)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 C

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月26日(2010.2.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも前面に開口部を有する筐体と、
 該筐体に対して回動可能に軸支され、前記開口部を閉塞する施錠可能な閉塞位置と前記開口部を開放する開放位置との間で開閉可能に設けられた扉形前面部材と、
 該扉形前面部材に配置され、遊技に関する操作を行うための遊技操作部と、
 該遊技操作部の操作に基づき、遊技の進行を制御する遊技制御手段と、
 該遊技制御手段による制御に応じ、所定の演出制御を実行する演出制御手段と、
 前記遊技制御手段及び前記演出制御手段を有し、前記筐体内に収容され交換可能な機種ユニットと
 を備え、
 前記機種ユニットは、前面の少なくとも一部にユニット開口部を有するユニット本体、及び、前記ユニット本体に対して回動可能に軸支され、前記ユニット開口部を閉塞/開放可能に設けられた前面開閉部材を有してなり、
 さらに、
 前記扉形前面部材に前記機種ユニットの前面開閉部材を連動させる連結具を備え、
 前記扉形前面部材を前記開放位置へ回動させることによって、前記連結具を介し、前記前面開閉部材が連動して回動し、前記筐体の開口部の開放と共に前記ユニット開口部が開放される
 ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記扉形前面部材を前記閉塞位置へ回動させることによって、前記連結具を介し、前記前面開閉部材が連動して回動し、前記筐体の開口部の閉塞と共に前記ユニット開口部の開放が規制される
 ことを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記扉形前面部材は、軸心方向を略鉛直方向とする前記筐体側部の扉軸回りに回動可能となっており、
前記前面開閉部材は、前記扉軸に近接して設けられ、当該扉軸に平行なユニット本体側部の開閉軸回りに回動可能となっている

ことを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の遊技機。